



藤のかげはし

F.I.A NEWS

ふじおか し こくさい こくりゅうきょうかい かいほう
藤岡市国際交流協会会報

Fujioka International Association

March 2024

2023年5月より、日本では新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが5類へ移行し、また世界保健機関（WHO）でも「国際的な公衆衛生上の緊急事態」の終了が発表されました。日本でも多くの外国人観光客の姿が見れるようになり、国際交流の機運の高まりを感じさせます。

このような情勢の中、藤岡市国際交流協会では、コロナ禍で開催を見送りしていた交流事業を再開し、多くの方が国際交流ができるよう活動しました。



一緒に活動をしたり、国際交流協会を応援したりしててくれる会員を募集しています。「外国人の日本語学習を支援したい」「いろんな人と交流したい」など、多文化共生社会に関心のある個人や企業・団体の方はぜひご協力ください。

ねんかいひ
年会費

こじんかいひん えん ほうしん だんたいかいひん えん
個人会員2,000円 法人・団体会員10,000円

ふじおか し こくさいこくりゅうきょうかい じ む きょく ふじおか し やくしょ きかく かない
藤岡市国際交流協会事務局(藤岡市役所企画課内)
〒375-8601 群馬県藤岡市中栗須327
TEL:0274-40-2428(直通) FAX:0274-24-3252

はっこうび ねん がつ
発行日：2024年3月
はっこうしゃ ふじおか し こくさいこくりゅうきょうかい
発行者：藤岡市国際交流協会
へん しゅう ふじおか し こくさいこくりゅうきょうかい そう む ぶ かい
編集：藤岡市国際交流協会総務部会

今年度に実施した主な事業

総務部会

General Affairs

国際交流啓発作品コンクール

市内の小中学生から応募されたポスター、写真、標語の計200点から金賞6点、銀賞40点選ばれ、10月11日(水)～15日(日)の5日間、ららん藤岡花の交流館にて掲示しました。また、入賞者のポスターは、各地区の公民館でも掲示しました。



文化交流部会

Cultural Exchange

外国語講座

多くの人に外国語の学習を通して国際交流に対する理解を深めていただくため、ALT等を講師にお迎えして開催しています。本年度は人気の韓国語講座、英会話教室を実施しました。



外国料理教室

12月17日(日)に韓国料理教室を開催しました。藤岡市ハンゲル愛好会で講師を務めるホン・ジョンアさんから、「ビビンパ」、牛肉のチヂミ「ユッチョン」、韓国の伝統的なお菓子「ヤクシク」の3品を教えてくださいました。



国際交流パーティー

12月9日(土)に国際交流パーティーを開催しました。このパーティーはコロナ等で中止が続いていましたが、4年ぶりに開催することができました。

参加者は協会員・外国人・ステージ出演者等、合計123名で、にぎやかな会場で国際交流ができました。



✓ **フードバンクふじおかへ
寄附を行いました。**

3月11日に、トッポギ400食などを寄附しました。
フードバンクふじおかを通じて、こども食堂で振る舞う
等活用いただきました。



✓ **海外訪問団受入**

令和6年度に、カナダーリジャイナ市の
訪問団を受け入れるべく準備を進めました。



ぶ かい
ボランティア部会

✓ **外国人のための日本語教室**

「言葉の壁」により、日本での生活に不自由している
外国人を対象に、毎週金曜日の夜に日本語教室を総合
学習センターで開講しています。学習は個別に行って
おり、講師のスタッフが受講生の進捗や興味を考慮して
丁寧に指導を行っています。



✓ **日本文化研修**

5月21日(日)に日本文化研修バス旅行で栃木県の日光東照宮、華厳の滝などへ行き、日本の
文化に触れる機会を作り、交流を深めました。



✓ **「日本語教室」ボランティアスタッフ募集☆**

外国人やその家族の日本語学習を手伝ってくれるスタッフを募集しています。
特別な資格や経験はいりません。外国語が話せなくても大丈夫ですので、気軽に
参加してください。日本語の日常会話を通じて、身近な国際交流を始めま
しょう。また、日本語教室の受講者も随時募集しています。



楽しく国際交流を

朝川 めぐみ

藤岡市鬼石地区に「シロオニスタジオ」というアーティスト・イン・レジデンス(AIR)があるのをご存知でしょうか。AIRとはアーティストが一定期間滞在しながら、そこで得たインスピレーションなどを基に作品制作を行うアートの拠点です。「シロオニスタジオ」を訪れるアーティストはほとんどが海外出身者のため、アーティスト同士はもちろん、地域の方との国際交流も盛んです。

私は鬼石地区出身で、数年前に故郷に帰ってきたのを機にそこに携わるようになり、現在は主に事務仕事や翻訳、アーティストたちの生活の手助けなどを行っています。以前は仕事や旅行で海外に行くことが多かったため、海外出身者に囲まれる環境にも抵抗は感じず楽しく過ごしています。ですが元々国際的な環境で育ったというわけではなく、旅行や交流の経験を重ねるうちに徐々に慣れていった感覚があります。

初めての国際交流の経験を振り返ってみると、中学3年生の時、当時の鬼石町の研修プログラムで中国の北京へ連れて行っていただいたことを思い出します。日本とは雰囲気の違いや人々の様子、文字や言語、料理の味付けなど、中国という異国を肌で感じる貴重な経験でした。万里の長城や紫禁城を訪れた際にはその壮大さに胸を打たれ、少しでも目に焼き付けようと眺めていたことを覚えています。

その旅行のメインイベントは、現地の中学校への訪問でした。事前に作って持っていった自己紹介などが書かれた冊子を現地の生徒にプレゼントし、グループに分かれてフリートークをしました。習いたての英語を使い、うまく伝わらなければ漢字を書き合ったりしてコミュニケーションを取ったのですが、その時に「意外と通じるものだな」という素朴な感動がありました。

英語の授業の外に出て、第二言語同士で意思の疎通ができたその感覚は、後に海外の方と出会う機会が増えるようになってからも残っていて、交流の輪に入っていく際のハードルを下げてくれたような気がします。

国際交流は英語のテストと違って、間違えてもいい、辞書や翻訳アプリを使ってもいい、楽しいものです。小・中・高生や国際交流に興味のある大人の方が、それを体感する機会に恵まれるといいなと思います。

「シロオニスタジオ」は、その身近な機会のひとつだと思います。せっかく藤岡市内にありますので、展覧会などにお越しになれることがあれば、ぜひアーティストたちに声をかけてみてください。一緒に国際交流を楽しみましょう。

